退職給付引当金

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

①　退職給付引当金の内容を理解しよう！

②　仕訳をマスターしよう！

主な勘定科目

「退職給付引当金」勘定（負債）

「退職給付費用」勘定（販売費及び一般管理費）

退職給付引当金（たいしょくきゅうふひきあてきん）とは、従業員が退職したときに退職一時金を支払ったり、退職後に退職年金を支払いますが、これらの将来支払われる退職給付に対して設定される引当金です。

（１）引当金設定時（通常、決算整理）

「**退職給付費用**」勘定（販売費及び一般管理費）と「**退職給付引当金**」勘定（負債）で処理します。なお、退職給付引当金の計上額は、純粋な引当金の繰入以外の要素があるため、通常、「退職給付引当金繰入」勘定ではなく、「退職給付費用」勘定で処理します。

例題　**決算において、退職給付引当金の当期繰入額は50,000円である。**

借方科目	金額	貸方科目	金額
退職給付費用	**50,000**	**退職給付引当金**	**50,000**

（２）退職金支払時

退職給付引当金を設定している場合、退職金を支払った時に「**退職給付引当金**」勘定（負債）を取り崩します。

例題　**従業員が退職したので、退職金30,000円を現金で支払った。なお、退職給付引当金の残高は70,000円であった。**

借方科目	金額	貸方科目	金額
退職給付引当金	**30,000**	**現金**	**30,000**

修繕引当金

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

①　修繕引当金の内容を理解しよう！

②　仕訳をマスターしよう！

主な勘定科目

「修繕引当金」勘定（負債）

「修繕引当金繰入」勘定（販売費及び一般管理費）

「修繕費」勘定（販売費及び一般管理費）

修繕引当金（しゆうぜんひきあてきん）とは、建物や機械等について、毎年行われるはずの修繕が何らかの理由で行われなかった場合に、将来修繕が行われる時の費用に対して設定される引当金です。

（１）引当金設定時（決算整理）

「**修繕引当金繰入**」勘定（販売費及び一般管理費）と「**修繕引当金**」勘定（負債）で処理します。

例題　**決算において、修繕引当金の当期繰入額は60,000円である。**

借方科目	金額	貸方科目	金額
修繕引当金繰入	**60,000**	**修繕引当金**	**60,000**

（２）修繕時

修繕引当金を設定している場合、「**修繕引当金**」勘定（負債）を取り崩します。なお、支出額が修繕引当金の残高を上回る場合、上回った金額を「**修繕費**」勘定（販売費及び一般管理費）で処理します。

例題　**機械の修繕を行い、修繕費として90,000円を現金で支払った。なお、修繕引当金の残高は60,000円であった。**

借方科目	金額	貸方科目	金額
修繕引当金	**60,000**	**現金**	**90,000**
修繕費	**30,000**		

修繕費：90,000－修繕引当金60,000＝30,000

（３）支出額に資本的支出が含まれている場合

固定資産の価値が高まる改良（**資本的支出**）が行われた場合、その支出額は固定資産の取得原価に含めます。

修繕（**収益的支出**）部分は修繕引当金を設定している場合、「**修繕引当金**」勘定（負債）を取り崩します。なお、修繕部分が修繕引当金の残高を上回る場合、上回った金額を「**修繕費**」勘定（販売費及び一般管理費）で処理します。

例題　**機械の修繕と改良を行い、代金90,000円を小切手を振り出して支払った。代金のうち20,000円は耐用年数を延長させるための改良であった。なお、修繕引当金の残高は60,000円であった。**

借方科目	金額	貸方科目	金額
機械	**20,000**	**当座預金**	**90,000**
修繕引当金	**60,000**		
修繕費	**10,000**		

修繕費：収益的支出70,000－修繕引当金60,000＝10,000

収益的支出：90,000－資本的支出20,000＝70,000

引当金①　問題

問題1　以下の取引に関して、仕訳を行いなさい。

①　得意先が倒産したため、売掛金200,000円が貸倒れとなった。そのうち120,000円は当期中に売り上げた商品代金であり、残りは前期に売り上げた分であった。なお、貸倒引当金の残高は130,000円である。

②　退職給付引当金の当期繰入額は30,000円である。

③　前期に販売した商品に対して得意先から修理の申し出があったので、修理業者に修理を依頼し、代金38,000円を現金で支払った。なお、当社では前期の決算において、売上高8,000,000円の２%を商品保証引当金に計上している。

④　機械の定期修繕を期末に行い、代金300,000円は翌月払いとした。なお、修繕引当金の残高は220,000円であった。

⑤　決算にあたり、売掛金残高1,000,000円に対して貸倒引当金を設定する。なお、売掛金のうちX社に対する200,000円については50%の貸倒引当金を、それ以外は2%の貸倒引当金を設定する。なお、貸倒引当金の残高はなかった。

引当金①　答案用紙

問題1

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				
④				
⑤				

引当金①　解答解説

問題1　**解答**

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①	貸倒引当金 貸倒損失	80,000 120,000	売掛金	200,000
②	退職給付費用	30,000	退職給付引当金	30,000
③	商品保証引当金	38,000	現金	38,000
④	修繕引当金 修繕費	220,000 80,000	未払金	300,000
⑤	貸倒引当金繰入	116,000	貸倒引当金	116,000

問題1　**解説**

①　前期売り上げ分は貸倒引当金を取り崩し、当期売り上げ分は「貸倒損失」勘定（販売費及び一般管理費）で処理します。

借方科目	金額	貸方科目	金額
貸倒引当金	**80,000**	**売掛金**	**200,000**
貸倒損失	**120,000**		

②　退職給付引当金の計上は「退職給付費用」勘定（販売費及び一般管理費）を用います。

借方科目	金額	貸方科目	金額
退職給付費用	**30,000**	**退職給付引当金**	**30,000**

③　前期に計上した商品保証引当金は160,000円（=8,000,000円×２％）であるので、商品保証引当金を取り崩します。

借方科目	金額	貸方科目	金額
商品保証引当金	**38,000**	**現金**	**38,000**

④　定期的な修繕のために、修繕引当金が設定されている場合には、優先的に修繕引当金を取り崩し、残高は「修繕費」勘定（販売費及び一般管理費）で処理します。

借方科目	金額	貸方科目	金額
修繕引当金	**220,000**	**未払金**	**300,000**
修繕費	**80,000**		

⑤　貸倒れの危険性が高い債権については、他の債権と区別して個別に貸倒引当金を設定します。

借方科目	金額	貸方科目	金額
貸倒引当金繰入	**116,000**	**貸倒引当金**	**116,000**

貸倒引当金繰入：200,000×50%＋(1,000,000－200,000)×2%＝116,000